

防災訓練に参加しました。

1. はじめに

防災訓練は、災害発生時における迅速かつ適切な対応を目的としています。

2024年12月1日（日）、松葉町全所帯（18の町会、自治会、管理組合）を対象に、ふるさと協議会主催の秋の防災訓練が開催されました。

今回は3丁目から41名、全体で331名が参加しました。

今回の訓練を通じて、自助、共助、公助の重要性を再確認しました。

また、シェーク訓練を通じて実践的なスキルを身につける体験を初めてしました。

2. 訓練の概要

訓練は午前8時の地震発生を想定して開始され、まず各町会と災害本部（ふる協事務所）との連絡網の構築確認のため、トランシーバーの送受信テストが順次行われました。

3丁目は第3公園内でテストを実施しました。

また、安否確認のために各家庭で“黄旗”を門扉など目につく場所に掲揚してもらいました。

参加者は避難所として想定されている松葉中学校校庭の指定場所に集合しました。

開会式後、展示品の体験・見学を行いました。（起震車による地震体験、多機能消防車、救急車、AED、簡易発電機、トイレ等及び市とのコラボによるポスターセッション、市管理の防災品等）

3. ふる協の防災委員長から、

自助、共助、公助について、特に自助を強調されていました。避難所開設マニュアル完成、訓練マニュアル作成中とのこと。委員長指導で**シェーク訓練（添付写真を参照）**を実施。

自助

自助とは、個人が自らの命を守るための行動を指します。訓練では、地震発生時にまず身を守るための動作を訓練しました。これにより、参加者は自分自身の安全を確保する方法を学びました。

共助

共助は、地域住民同士が助け合うことを意味します。

公助

公助は、自治体や政府機関による支援を指します。訓練では、消防や警察、市職員が参加し、避難所の設営や救助活動等。災害時、近隣センターに市職員3名が派遣されることが決まった。

シェーク訓練とは？

シェーク訓練は、地震発生時の初動対応をシミュレーションする訓練です。参加者は、地震発生のアラームが鳴った瞬間に「ダック、カバー、ホールドオン」を実践する。

詳細は、<https://bousai-life.com/shakeout/> 参照。

4. 消防署から（閉会式の挨拶）

各自の備蓄品は最低3日分を確保、心の準備としていつ災害が来るかわからないという気持ちで生活することが重要、感震ブレーカの設置を（市からの補助金制度あり）。

5. 訓練の成果と課題

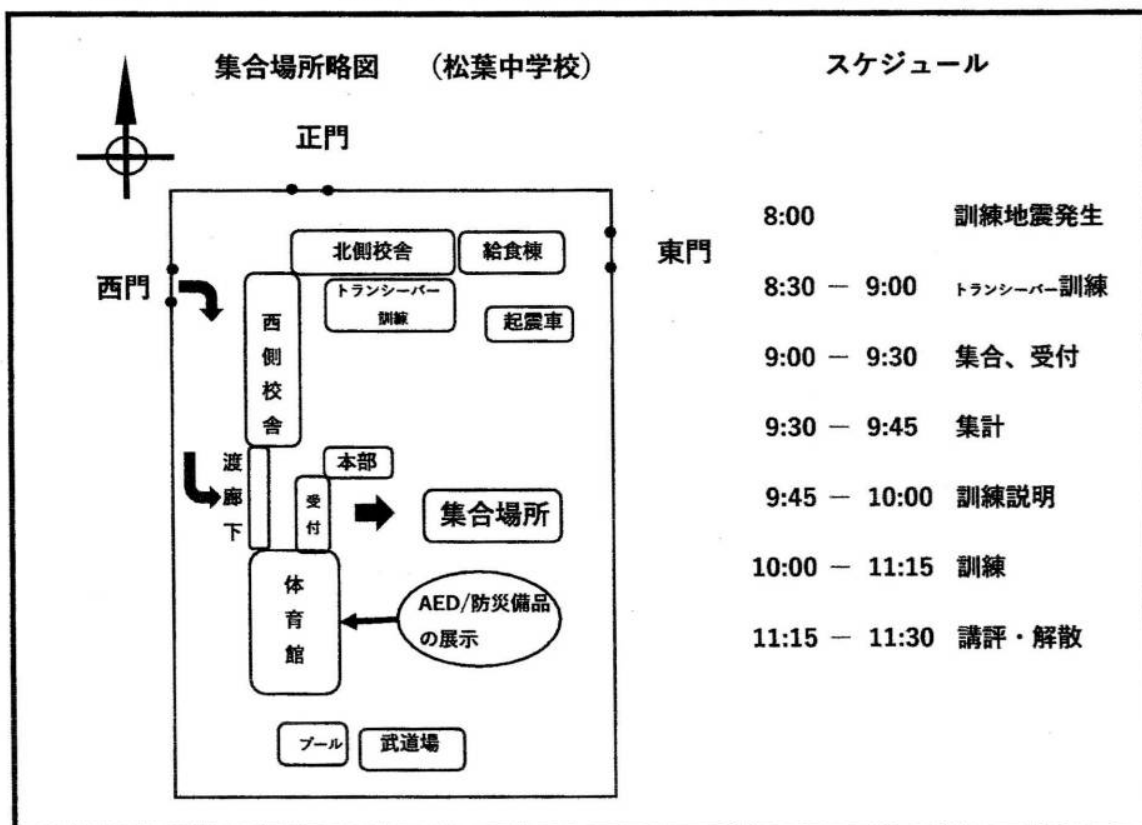
今回の訓練を通じて、参加者は自助、共助、公助の重要性を再認識し、実践的なスキルを身につけることが出来ました。しかし、閉会式までの参加者が 1/4 程度だったこと（非常食のスープを早く提供したので早目に自主解散？）、3丁目の黄旗の掲揚率が低かったこと、まとまった避難所への避難訓練、車いす参加者への共助（配慮）、更には個人で備蓄している非常食（水）、消火器、煙感知器等の検査も併せて点検したがよかったと思いました。

6. まとめ

防災訓練は、災害時における迅速かつ適切な対応を学ぶ貴重な機会です。自助、共助、公助の各要素をバランスよく取り入れた訓練を継続することで、地域全体の防災力を向上させることを期待したいと思います。

(ICT 担当 武藤レポート)

主催 : 松葉町地域ふるさと協議会 防災専門部会



シェーク訓練



非常食コーナー



起震車



AED

